

平成23年行政事業レビューシート

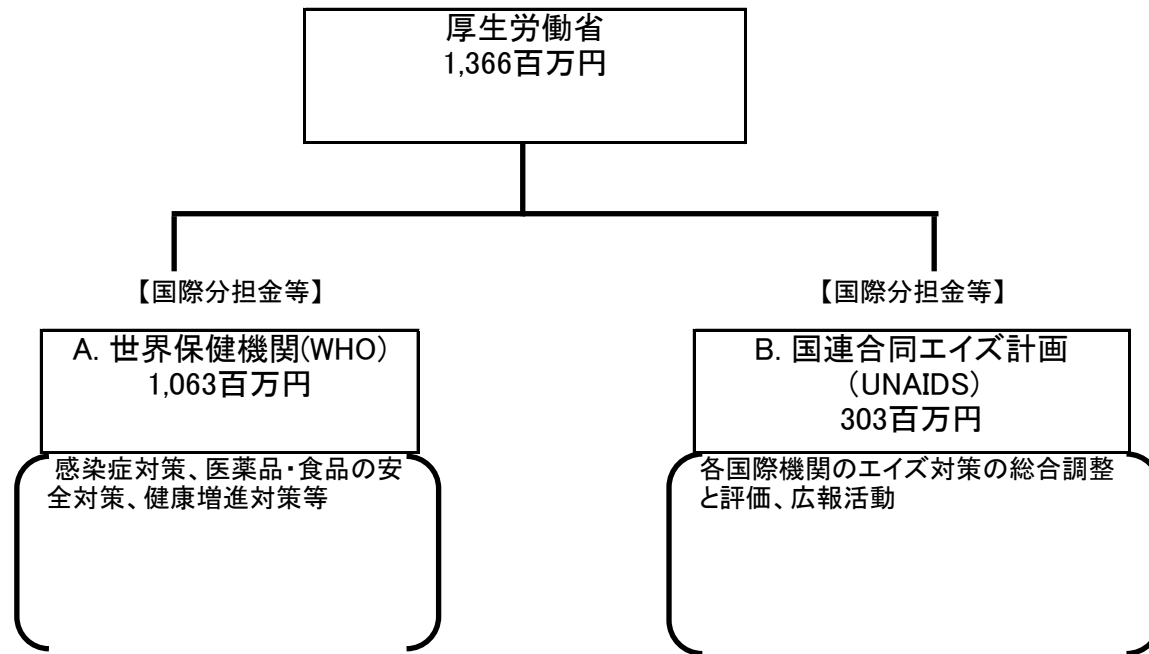
(厚生労働省)

事業名	世界保健機関等拠出金事業		担当部局庁	大臣官房		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	昭和48年度		担当課室	国際課		藤井 康弘	
会計区分	一般関係		施策名	VI-3-1 国際機関の活動へ参加・協力し、国際社会に貢献する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	世界保健機関憲章第57条(WHO) 国際連合経済社会理事会決議1994/24第12条		関係する計画、通知等	—			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	世界保健機関(WHO)及び国際合同エイズ計画(UNAIDS、WHO等の国連10機関が参加する調整プログラム)を通じ、感染症対策やエイズ対策などの国際保健分野における諸課題への取組を強化することを目的に、世界保健機関(WHO)及び国連合同エイズ計画に対する拠出を行うことにより、国際協力事業を推進する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	新型インフルエンザ、HIV等の感染症対策事業、国連ミレニアム開発目標(MDGs)の達成に向けてより一層の取組が必要な母子保健事業、保健従事者の育成も含めた保健システム強化事業、産業保険事業、食品安全・医療安全事業などに対する拠出を行い、国際保健分野における取組の強化に努めている。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他(拠出金)						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	1,600	1,814	1,366	1,334	1,198
		補正予算	0	0	0	0	
		繰越し等	0	0	0	0	
		計	1,600	1,814	1,366	1,334	1,198
	執行額	1,459	1,814	1,366			
執行率(%)	91	100	100				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	主な流行性疾患への備えと対応のために、国家準備計画と標準的作業手順が設置された国の数	成果実績		90	139	141	165
		達成度	%	—	103	—	
	国連合同エイズ計画(UNAIDS)による支援を受け、エイズ治療とケアサービスを拡大した国の数	成果実績		—	71	78	—
達成度		%	—	—	—		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	—	活動実績(当初見込み)		—	—	—	—
単位当たりコスト	—		算出根拠	(プロジェクト毎に、各種制度構築や国家計画の策定等、長期的な目標を設定しているため、単位あたりコストを設定するのが困難である。)			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	拠出金	1,334	1,198	・ 拠出事業内容の効率化による。			
	計	1,334	1,198				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>世界保健機関(WHO)などを通じ、感染症対策やエイズ対策などの国際保健分野における諸課題への取組強化に向けて、我が国が大きな役割を果たすことに貢献していると考えられる。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		<p>本事業は、必要性や執行の観点からも概ね妥当であるが、拠出先機関とも調整し、事業内容を常に見直すことで効率的な執行に努め、予算額に反映すること。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>○ 会合の開催回数を減らすなど、拠出事業内容の効率化を図った。(△136百万円)</p>			
補記(過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p><b>【事業実施の必要性】</b>  ・ 世界保健機関(WHO):日本が国際的な影響力を保ちつつ、日本の国益に関係する分野(感染症対策分野)や内政への直接的な影響が想定される分野(食品安全・医療安全分野)を中心に、国際保健分野における諸課題への取り組みを強化することを目的に実施するものであり、WHOへの拠出事業は重要である。  ・ 国連合同エイズ計画(UNAIDS):近年、日本におけるHIVの新規患者は増加傾向にあり、特に2008年は1,126人の感染者が報告され過去最高となった。国内におけるエイズの広がりを防止するためには、国連合同エイズ計画(UNAIDS)が毎年報告している疫学情報などを戦略的に活用することや、UNAIDSが提供している諸外国の教訓を踏まえた政策立案の情報を利用することが重要である。また、日本はアジア・太平洋地域における主要国であり、各国からの支援要請に応えられるだけでなく、日本の支援による本事業の成果は、全世界に還元される。このように国内施策への反映に加え、国際保健の向上に資することにより、国際社会における日本のプレゼンスを示すという観点からも、UNAIDSへの拠出事業は重要である。</p> <p><b>【その他特記事項】</b>  総事業費については、当該年度の支出官レートを適用した日本円換算で計上している。</p>			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)



A. 世界保健機関(WHO)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
拠出金	世界保健機関の実施する感染症対策事業等に対する拠出	1,063			
計		1,063	計		0
B. 国連合同エイズ計画(UNAIDS)			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
拠出金	国連合同エイズ計画の実施するエイズ対策に対する拠出	303			
計		303	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	世界保健機関(WHO)	世界保健機関の実施する感染症対策事業等に対する拠出である。	1,063		
2					
3					
4					
5					
6					
7					